

事務事業名	林地崩壊防止事業	所属部	農林振興部	所属課	農林土木課				
総合計画体系	政策名	〈Ⅱ〉安全・安心で快適なまち〈定住環境〉	所属G	農林災害復興G	課長名	宮川 勝			
	施策名	〈16〉消防・防災対策の推進	担当者名	高木 洋輔	電話番号	0854-40-1081 (内線) 2404			
	目的対象	市民	意図	生命・財産を火災・災害から守る。	会計	款	大事業	大事業名	林地崩壊防止事業
	基本事業	〈046〉防災施設の整備	予算科目	0:1:3:0:0:1	中事業	中事業名	林地崩壊防止事業		
目的対象	市民	意図	被害にあわない、被害が拡大しない。	1:0:4:0:0:1	中事業	中事業名	林地崩壊防止事業		

1 現状把握【DO】

(1) 事務事業の概要

① 対象(誰、何を対象にしているのか)	② 意図(対象がどのような状態になるのか)
被災箇所	被災箇所を復旧する
③ 事業内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)	
事業期間 <input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ( H16 年度～ ) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度～ 年度 )	降雨により人家裏山が崩壊し人家に影響を及ぼした場合、その復旧を目的とする。 復旧工法:コンクリート擁壁、簡易法枠、現場吹付法枠(※事業費は100万円以上) 受益者負担は世帯の所得状況により10%,12.5%,15%のいずれか ※R3災は5%,6.25%,7.5%(特例措置) 補助率は、(A)住民税非課税世帯が事業費の1/2、(B)世帯の最高所得者の住民税課税標準額250万円未満が(事業費-100万円)×1/2、(C)世帯の最高所得者の住民税課税標準額250万円以上が(事業費-200万円)×1/2
④ 主な活動	⑤ これまでの改革・改善経緯
R3年度実績(R3年度に行った主な活動) R2災 復旧工事(繰越分)6箇所 R3災 測量設計41箇所 (※復旧工事はR4年度に全箇所繰越)	(この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?) R3災は非常に甚大な被害であったことに鑑み、特例措置として受益者負担を通常の半分に引き下げている。

(2) 事務事業の指標

成果指標	単位	R元年度(実績)	R2年度(実績)	R3年度(実績)	R4年度(計画)
ア 完了箇所数(現年)	箇所	0	1	0	31
イ 完了箇所数(繰越)	箇所	5	1	6	41
ウ					
エ					

(3) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (R3年度決算)	② コストの推移	単位	R元年度(決算)	R2年度(決算)	R3年度(決算)	R4年度(計画)
【繰越(R2災)】6箇所 工事費:38,255千円、事務費:500千円 計:38,755千円	財源内訳	国庫支出金	千円			
【現年(R3災)】41箇所 委託費:31,504千円、事務費:1,598千円 計:33,102千円		県支出金	千円	19,672	9,215	30,045
合計:71,857千円		地方債	千円	18,000	8,100	36,000
※地方債:緊急自然災害防止対策事業債		その他	千円	5,243	1,111	5,763
		一般財源	千円	129	41	49
	事業費計	千円	43,044	18,467	71,857	798,300

2 事後評価【SEE】

① 事業実績における成果	早期復旧に努め、生活の安全が確保された。 R3災分については、R4年度中に復旧完了予定。
② 事業実施するうえでの課題	人家裏の施工性の悪い場所での復旧工事が多くなる。
③ 課題解決に向けた改革改善等	県と連携し、引き続き円滑な事業推進に努める。